

## 第二回 家村中佐の兵法講座

平成二十四年二月十二日

**謀攻篇** 武力戦（実際に武力を行使する戦）によらず、謀りいくまごとによって敵を攻略

一 百戦百勝は善の善なる者に非ざるなり。戦わずして人の兵を屈するは善の善なり。  
用兵の法は、

- ① 国（↓軍↓旅↓卒↓伍）を全うするを上と為し、
- ② 国（↓軍↓旅↓卒↓伍）を破るはこれに次ぐ。

※ 戦争↓（会戦）↓作戦↓戦闘（戦略・戦術・戦法）を同一視

戦争の目的と手段

戦わずして∥武力を行使しないで・・・手段

人の兵を屈する∥敵の意図を挫く（我が意思を強要する）・・・目的

【闘戦経】第十七章 大軍の運用は進止のみ（七八頁）

第十一章 過ぎたるは及ばざるに如かず（六〇頁）

第十三章 懼れと覚悟（六六頁）

二 上兵は謀を伐つ

- ① 謀（計謀）∥非軍事的手段（情報・宣伝・政治・法律・経済・・・）
- ② 交（外交）∥非軍事的手段＋準軍事的手段（武力による威嚇）
- ③ 兵（野戦）∥軍事的手段（武力の行使）
- ④ 城（攻城）∥軍事的手段（武力の行使）

※ 超限戦∥①×②×③（又は④）

全きを以て ∥敵の国土や戦力を無傷のままに獲得（武力を行使しない戦争）

三 小敵の堅は大敵の擒なり。

少なれば則ち能くこれを逃れ、若かざれば則ち能くこれを避く

【闘戦経】第二十一章 蝮蛇の毒を生ず（九〇頁）

第三十章 螫毒の一手（二一八頁）

第四十三章 速やかに敵の恃むところを討つ（二五七頁）

第四十四章 寡兵をもって大敵を討つ（二六〇頁）

四 君の軍に患うる所以の者には三あり。……軍を乱して勝を引く

- ① 軍の進退(戦略的判断)への介入
  - ② 軍事行政への介入
  - ③ 指揮命令系統・状況判断(戦術的判断)への介入
- 軍の統帥権と指揮権

【闘戦経】第二四章 文官は金に目がくらみ大将が逡巡すれば(九九頁)

五 勝を知るに五あり。……勝を知るの道

- ① 戦うべきか否かの判断
- ② 大兵力と小兵力の運用法
- ③ 上下の意志統一 || 共通の利害
- ④ 万全の準備を整え、敵を不意急襲
- ⑤ 有能な將軍への指揮権の委譲(独断・自主裁量)

彼を知りて己れを知れば、百戦して殆うからず

敵情の把握と自軍の実情認識

インフォメーション(情報資料)とインテリジェンス(情報)

形篇 「敵が我に勝てない態勢」と「我が敵に勝てる態勢」

一 先ず勝つべからざるを為して、以て敵の勝つべきを待つ。

勝つべからざる || 敵が我を攻めても勝てない態勢(我は守勢)

敵の勝つべき || 我が敵を攻めれば勝てる態勢(敵は攻勢又は守勢)

※ 敵も攻守選択の自由意思を有する

守は則ち足らざればなり、攻は則ち余り有ればなり(戦場と戦術)

「五なれば則ちこれを攻め」(謀攻篇三 四八頁)

善く守る者は、……善く攻むる者は、……

《竹簡本》

守れば則ち余り有り、攻むれば則ち足らず(戦域と作戦戦略)

昔えの善く守る者は、……(守勢から攻勢に転移)

【闘戦経】第四八章 攻守自然の理あり(七三頁)

二 善く戦う者は、勝ち易きに勝つ者なり。

善く戦う者の勝つや、智名も無く、勇功も無し。

《竹簡本》

善なる者の戦うや、奇勝無く、智名無く、勇功無し

其の戦い勝ちてたが忒わす

戦場の不確実性 ↑ ↓ 作戦の計画(方針の確立と具体化) || 主動性の保持

勝兵は先ず勝ちて而る後に戦いを求め、敗兵は先ず戦いて而る後に勝を求む

【闘戦経】第三十九章 戦場には仁義も常理もない(二四五頁)

三 善く兵を用うる者は、道を修めて法を保つ。

道 || 計篇の五事(道・天・地・将・法)にある道 || 立派な政治)

法 || 計篇の五事(道・天・地・将・法)にある法 || 編成などの軍制)

《竹簡本》

善なる者は、道を修めて法を保つ。

道 || 戦における勝敗の道理 || 守勢から攻勢への二段構え)

法 || 戦の原則 || 度・量・数・称・勝の五段階)

四 勝兵は鎡を以て銖を称るが若く、敗兵は銖を以て鎡を称るが若し。

戦の原則 || 客観的諸条件を五段階で考察 ↓ 勝算

度 || 戦場の広さ・距離・高さ等(地理的条件)

量 || 投入しうる物量(物質的条件)

数 || 動員可能な兵力数 ↓ 継戦能力

称 || 彼我の戦力を比較・計量

勝 || いかにして勝つか(勝利をもたらす態勢)を判断

戦場における不測事態の発生 ↑ ↓ 人間の主体的意思と行動

五 勝者の…積水を千仞の谿に決する

《竹簡本》

称勝者(勝ちを称る者) || 彼我の勝敗を(戦の原則に基づき)計量する者

勢いだけでは、勝てない

【闘戦経】第四二章 勢いで勝つか、力で勝つか(二五四頁)…「間」と「機」

概念区分		戦争の構造的区分	戦いを構成する要素											
			我					敵				空間		時間
			対象レベル (現代戦の場合)	意思(任務)		戦力		企図		戦力		地形 (不変)	気象 (可変)	いつまでに 何をするか
				目的	目標	有形	無形	目的	目標	有形	無形			
戦略	国家戦略	戦争	国家	生存 (覇権)	勝利	国力 政治力・経済力 情報力・軍事力 リーダーの質 国民の質 等		覇権 (生存)	勝利	国力	領域 (陸海空)	気候	数ヶ年 単位	
	軍事戦略	武力戦	統合軍	理念的 (訓令的)		統合作戦能力		「我」とほぼ同じ				領土	気象	数ヶ月 単位
戦術	作戦戦略		総軍									単一軍種 (陸軍の場合)		
	戦術	作戦単位 部隊	方面軍	部隊編制	統率力									
			軍			装備の量	戦術能力							
			師団					指揮命令 系統の厳 格さ						
			旅団						訓練練度					
連隊	精神力													
戦術		戦闘単位 部隊	大隊	兵站能力	体力									
			中隊			健全性								
			小隊											
戦法	小部隊	班・分隊	機動力	火力										
		組			防護力									
		戦闘員												
(戦技)	各個	戦闘	技術的 (号令的)	地表		天気	数日間 単位							
				地物	風速・風向	数時間 単位以下								
				一木一草	日出・日没 明暗 寒暑									